

## 第8期活動報告

平成26年4月1日～平成27年3月31日

※1. 各事業の後尾に定款に定められた事業の項目を（定款㊦）と示している。

### I. 委託事業

#### 1. あしや市民活動センター（以下、活動センター）の指定管理業務 市民活動施設の運営管理に関する事業

##### (1) 会議室貸し出し業務（定款①）

- ・会議室A・B・C・Dを貸出し、平均稼働率49%であった。

##### (2) セミナー事業（定款④）

- ・学生向けボランティア養成講座（4月19日参加者15人 5月31日参加者12人）
- ・男性向けボランティア講座（3月14日参加者14人）

##### (3) 備品、その他の管理業務（定款①）

- ・紙折り機、図書の貸し出しなどを行った。

##### (4) 情報提供業務（定款②）

- ・活動センター内で、ラック・パネルなどを活用して団体情報の掲示
- ・季刊紙「かわらばん」を4回（6、10、1、3月）発行した。
- ・ホームページで芦屋市の情報や、登録団体のイベント告知など情報公開を行った。

##### (5) 活動センター利用者間のネットワーク支援事業としてティータイム 交流会の開催（定款⑤）

- ・第7回あしや市民活動フェスタボランティア説明&交流会（5月18日24人）
- ・施設ボランティアマッチング交流会（5月31日14組）
- ・団体向けAED講習・交流会（9月5日7団体14人）
- ・男性向けボランティア交流会（3月7日15人）

##### (6) 相談業務（定款②）

- ・来所77%、電話21%、その他（メール等）2%
- ・総相談対応時間6,190分
- ・相談件数182件（内訳：NPO関係73件、登録団体向けパソコン24件、ボランティア関係37件、行政・自治会・企業・他からの相談41件、施設利用7件）

##### (7) 調査・研究事業（定款③）

- ・平成22年度から平成26年度の5カ年の指定管理業務をまとめ、平成27年度以降の取り組みについて分析した。

##### (8) 第7回あしや市民活動フェスタ（定款⑤）

- ・5月31日に登録団体の発表の場として開催した。参加団体数30団体、来場者数約700人
- ・当日の様子をDVD化し、参加団体および施設へ配布した。

**(9) 市内中間支援団体交流事業（定款⑤）**

- ・ 中間支援組織の交流を目的とした会議を、指定管理者当法人を含む3者、(特活)芦屋市体育協会(芦屋市体育館)、(特活)芦屋市国際交流協会(潮芦屋交流センター)で、8月22日開催した。

**(10) 他市からの視察（定款①）**

- ・ 当法人の理事及び、芦屋市自治会連合会役員とで以下1件受け入れた。長崎県諫早市(市議8人)

**(11) 地域のボランティアコーディネーター養成講座（定款⑦）**

- ・ 初級編(9月9日16日参加者18人)
- ・ 中級編(11月27日参加者行政職員7人、自治会長6人)

**(12) 自主事業（定款⑤）**

- ・ 芦屋さくらまつりの清掃等ボランティアコーディネート(4月5日、6日 143人)
- ・ 印刷機の貸出
- ・ テーマカフェを4回開催(6月2日、7月9日、8月4日、9月10日参加者延べ22人)
- ・ NPO法人設立講座(6月21日参加者19人)
- ・ 助成金の獲得と活用講座(6月28日参加者19人)

**2. 地域の課題解決の仕組みづくり支援事業（定款⑦）**

- ・ 市民参画課からの委託事業
- ・ 地域ひろばで芦屋市自治会連合会ブロックを1単位とし、自治会が推薦したNPOと協働で市からの課題をそれぞれ協議した。開催日時と参加者数は下記のとおりである。

5/22・第8ブロック(23人)	6/2・第7ブロック(25人)
6/6・9Aブロック(31人)	7/7・9Bブロック(24人)
7/16・第10ブロック(21人)	7/18・2ACブロック(19人)
7/25・6Bブロック(24人)	8/1・6Aブロック(30人)
8/7・第1ブロック(30人)	
- ・ 8月29日、地域ひろばに参加した各自治会長に参加していただき、市民ひろばを開催した。(75名)

**3. NPO等の地域課題に関する調査分析業務**

「地域ひろば」の議事趣旨及び団体の振り返りシート及び、「市民ひろば」の議事趣旨を取りまとめることと、今年度の取り組みを調査分析し報告書を作成した。

**4. 芦屋市自治会連合会ホームページ作成および維持管理事業（定款⑤）**

- ・ 芦屋市自治会連合会からの委託事業
- ・ 会議、会報などの更新を行った。

**5. 芦屋市自治会連合会まちづくり懇談会事業（定款⑦）**

- ・ 芦屋市自治会連合会からの委託業務
- ・ 11月27日まちづくり懇談会の議事録の作成

#### 6. 人事課特別研修（定款④）

- ・ 人事課からの委託事業
- ・ 課長級以上職員向け参画協働講座（10月14日）
- ・ 一般職員向けファシリテーショングラフィック講座（11月27日）

#### 7. 芦屋市地区集会所運営協議会連合会 接遇研修（定款④）

- ・ 芦屋市地区集会所運営協議会連合会からの委託事業
- ・ 各集会所の管理人向けの接遇研修（2月19日午前午後各1回）

## II. 独自事業

#### 1. セミナー（定款④）

- ・ 共催：市民活動・パワーアップ講座「実践！PDCAサイクル」（7月5日参加者11人）
- ・ 共催：市民活動・パワーアップ講座「挑戦！新規事業開発」（9月20日参加者10人）
- ・ 共催：簿記初心者の為の決算業務のすすめ方講座（12月6日参加者21人）

#### 2. 講師派遣事業（定款④）

- ・ 西宮市民交流センター（5月31日）ボランティア入門講座  
「何かをしたいという「思い」を「カタチ」にしてみませんか？」
- ・ 柏原市民生児童委員会協議会（8月28日）  
精神保健ボランティア入門
- ・ 神戸市須磨区保健福祉部こども家庭支援課（8月28日、10月17日）  
「ボランティア活動って何？」～地域で果たすボランティアの役割～  
「地域でできる取り組みについて」  
「自分仕様のボランティアを考える」
- ・ 神戸市社会福祉協議会（9月5日）  
「ボランティア活動とは～ボランティアの魅力～」
- ・ 柏原市社会福祉協議会（10月21日、10月28日）  
傾聴ボランティア講座

#### 3. 他団体への後援・協力（定款⑤）

- ・ 芦屋音楽祭、社会を明るくする運動、I love Ashiya、芦屋観光協会への広報等の協力
- ・ リレーフォーライフの後援
- ・ 芦屋市障がい児・者作品展開催に協賛
- ・ 各種団体の委員の受任  
芦屋市教育委員会社会教育委員、芦屋市福祉部地域福祉計画推進評価委員、関西電力市民委員、西宮市市民交流センター運営委員

#### 4. あしやNPOセンター通信の発行（定款②）

- ・ 6月13日と27年1月8日

<p>5. (特活) あしや NPO センターのホームページ等広報 (定款②)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヤフー株式会社から「Links for Good」助成を受け、セミナー等の広報を広く行った。</li> </ul>
<p>6. 団体間の交流 (定款⑥)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関西 NPO 支援センターネットワーク (KNN) に参加し情報交換及び研修会を行った。</li> <li>・ひょうご中間支援団体ネットワークに参加し情報交換及び研修会を行った。</li> </ul>
<p>7. 阪神南中間支援センター連携交流会 (定款⑥)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西宮市市民交流センター、NPO 法人シンフォニーとの連携による「成功する市民活動・失敗する市民活動」講演会の開催 (9月13日 参加者74人)</li> <li>・情報の共有、講座の協働に関する協議を4回開催</li> </ul>

### Ⅲ. 組織運営

<p>1. 会員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正会員：個人会員12人／団体会員8団体</li> <li>・賛助会員：個人賛助会員8人／団体賛助会員2団体</li> </ul>
<p>2. 会議</p> <p>(1) 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第8期通常総会を5月17日に開催</li> </ul> <p>(2) 理事会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回 平成26年4月25日 第8期通常総会の準備</li> <li>・第2回 平成26年6月2日 理事の選任について</li> <li>・第3回 平成26年8月29日 指定管理5カ年の取組みについて</li> <li>・第4回 平成26年12月16日 第9期事業計画について</li> <li>・第5回 平成27年3月27日 第9期通常総会の準備</li> </ul> <p>(3) 事務局会議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月1回開催と、申し送りを兼ねた朝礼を毎日実施</li> </ul> <p>(4) 指定管理者事務局会議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回、月初に開催。市民参画課と指定管理業務についての受託内容の確認</li> </ul>

## 第8期活動報告詳細

### 【指定管理のセミナーに関する報告書】

#### ●学生ボランティア養成講座報告書

- 1 実施日：平成26年4月19日（土）13時～15時・5月31日（土）9時～15時
- 2 参加者：県立芦屋高校ボランティア部13人 芦屋大学 Aqua 2人
- 3 内容について

(1) 目的：若者ボランティアの獲得と育成

(2) 内容：

1) ワークショップ形式でボランティアについて考える時間を持つ。

① さくらまつりを振り返り、良かった点、改善点などをランダムにあげてもらい、それらの意見を【良い⇔悪い】【簡単⇔難しい】の軸に振り分ける。

② 振り分けた意見をもとに、それぞれのグループで「ボランティアの心得」を考えてもらい発表する。

2) 第26回さくらまつりの決算をもとにして、次年度について考える

① 今年度の決算を伝える。

② 決算をもとに、次年度自分がさくらまつりにどのように関わっていくのかをイメージする。

③ 各団体への宿題として、「さくらまつり」で何をしたいのか、どこまでできるのかを検討して秋までに希望があれば（特活）あしやNPOセンターまで連絡をする。

3) あしや市民活動フェスタの説明

・事業内容の説明をした後、何をしたいか、何をするかを考える。

・フェスタ当日（5月31日）に実践を行う。

(3) 検証：

・実際に活動をしているメンバーがほとんどだったので、振り返りの意見もスムーズに出していた。また、改善点に関しても、どうすればよかったのかをしっかりと分析できていた。

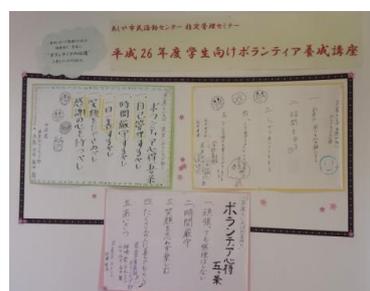
・「ボランティアの心得」は活動の中で自分たちが感じたことを言葉にしていたが、ボランティアをするうえで必要と思われる要素が多く含まれていた。

・フェスタでの実践では、自分たちがすべきことを見つけて、主体的に動くことができていた。

(4) 今後の展望

今回は講座に参加した学生に対して、「さくらまつり」に参加するのかわからないのか、また参加するのならどのような形で関わるのか（運営全般・補助のみ等）を各グループで検討するように伝えた。

今後も「さくらまつり」やその他のイベントでの実践を通じて、「ボランティア」をすることの意味を考える講座を展開していきたい。



●地域のボランティアコーディネーター養成講座報告書

- 1 実施日：平成26年9月9日（火）・16日（火）13時～15時
- 2 参加者：各自治会会長等延べ18人
- 3 内容について

- (1) 目的：「地域ひろば」など
- (2) 内容：今後の地域のあり方を考えながら、コーディネーターの必要性や役割を認識し、ボランティアコーディネーターとしてのスキルを習得していく。

≪9月9日≫ 第8回 会議を学ぼう（グループワークと座学）

- 自分が参加している会議を振り返ろう（グループワーク）
  - ・4月～8月までに参加した会議を振り返り、良かった会議とつまらなかった会議に分け、なぜそう思ったのかを書きだす。
- 良い会議・悪い会議について考えよう（座学）
  - ・会議とは何か、どのような準備が必要かを学ぶ。
  - ・チェックリストを使い、良いか悪いかについて考える。

≪9月16日≫ 第9回 会議を学ぼう（講義と体験会議）

- 会議運営に必要なことを学ぼう
    - ・芦屋市市民参画課発行の地域のボランティアコーディネーターのテキストに基づき、会議運営に必要な「進行」「ファシリテーター」「板書」「記録」の役割について学ぶ。
  - 役割に分かれて会議を運営してみよう
    - ・仮定の会議を設定し「ファシリテーター」「板書」「記録」を夫々体験する。
- (3) 効果：
    - ・通常は参加や運営をするという立場で直接会議に関わっているが、この講座を通して、会議を客観的に考える機会ができた。また、会議といっても、自治会の数だけ会議の形があることがわかった。
    - ・資料の事前配布や時間の厳守、決定事項及び協議事項の確認、記録の必要性など、会議を構成する基本的なことを再確認し、各自治会に持ち帰ることができた。



●地域のボランティアコーディネーター養成講座中級講座

「見て共有する会議技術を学ぶ」報告書

- 1 実施日：平成26年11月27日（木）10時～12時
- 2 参加者：行政職員7人・自治会長6人
- 3 内容：
  - (1) 目的：円滑な会議運営のためのスキルを身につける。

- (2) 内容：ファシリテーショングラフィックの手法を用いて、「会議の見える化」を体験し、その効果を実感する。ファシリテーショングラフィックのコツとワークショップのポイントを、実例をあげ、実体験をしてもらい効果を実感してもらった。
- (3) 検証：自治会の会議はもとより市の会議ですらホワイトボードを使用した会議がほとんどない現状での講座は、休憩時間に参考文献を手にする受講者が多かったことから、かなり効果をあげたように思われる。  
 ただ、グループワークの課題が現実味を帯びていたために、受講者の意識がファシリテーショングラフィックよりも課題に集中してしまったことが、反省点としてあげられる。  
 今回の研修だけで終わらず、庁内の会議や地域の会議で活用（練習）してもらえることを期待する。



### ●男性向けボランティア養成講座報告書

- 1 実施日：平成 27 年 3 月 14 日（土）10 時～16 時
- 2 参加者：14 人
- 3 内容

- (1) 目的：団塊の世代の男性の居場所づくりとして、撮影ボランティアを結成するために、撮影の基礎を学び、その後の活動に活かす。
- (2) 内容：まずは撮影の基礎とイメージづくりを中心に学び、平成 27 年度からは、役割分担を決め、グループワークのあり方に取り組んでいく。
- (3) 検証：撮影の基本を学ぶことで、今後自分たちがどのようなものを撮影したいか、映像として残したいか等、イメージができたようだ。
- (4) 今後の展開：次回は宿題の上映会からスタートし、今までの個人の行動とは違い、チームでの活動が本格化してくるので、チームワークがうまく取れるように見守っていきたい。



## 【指定管理の活動センター利用者間のネットワーク支援事業に関する報告】

### ●第7回市民活動フェスタボランティア説明&交流会

- 1 実施日：4月18日（金）13時～16時
- 2 参加者：21団体 24人
- 3 内容：
  - (1) 目的：市民センター登録団体間の交流
  - (2) 内容：市民活動フェスタの運営を通じて、お互いの活動を理解し、顔の見える関係を築くことで、団体間の連携や活動の発展を促す。
  - (3) 検証：全体の流れを説明した後、ステージ・セミナー・体験の各コーナーに分かれ、演目内容・出演時間等の調整や準備物の確認等を行った。それらの話し合いを進める中で、活動上の悩みを共有したり、今後のイベントの情報を共有したりと有意義な時間となった。  
また、交流後、お互いのイベントに出演しあったり、別の団体の活動に参加したりと、交流のきっかけとなった。

### ●施設ボランティアマッチング交流会

- 1 実施日：平成26年5月31日（土）10時～16時
- 2 参加者：12組
- 3 内容について
  - (1) 目的：施設のイベント担当者とボランティア団体とのマッチング
  - (2) 内容：各団体の活動内容を、あしや市民活動フェスタで実際にみてもらい、施設のイベント等に参加してほしい団体があれば直接交渉をする。
  - (3) 成果：個人→団体6組（野いちごコーラス・ハウオリポリネシアンスタジオ・プチエリーゼ・ヘルマンハーブ・芦屋健康倶楽部・西宮友の会・新日本婦人の会）  
施設→団体 8組  
老人福祉施設→出演団体全体、特養デイケア→笑いヨガ  
深江南まちづくり協議会→ヘルマンハーブ  
イキイキ健康講座→バルーンおじさん・夢くらぶ  
マンション管理組合→笑いヨガ、  
芦屋ミュージアムマネジメント→マジック  
芦屋川カレッジ学友会→夢くらぶ
  - (4) 今後の展望：  
今年度は昨年 of 発表を見て、団体を決めて交渉に来られる方や、個人から団体への参加問合せが多かったのが特徴的であった。実際に活動の様子を見ることで、施設側の計画もスムーズに進むので、今後もフェスタと並行して実施していきたい。

## ●団体向け AED 講習・交流会

1 実施日：平成 26 年 9 月 5 日（金）13 時～16 時

2 参加者：7 団体 14 人

3 内容について

(1) 目的：応急処置(AED 使用方法含)を学び、様々な活動の中で緊急時の対応を学び、団体同士の交流も兼ねる。

(2) 内容：

- ・芦屋市消防本部救急課 4 名に来ていただき、講義と講座を受ける。
- ・芦屋市消防本部の現状・救急出動体制について話を聞く。
- ・3 グループに分かれて、応急処置の手順、心肺蘇生の実技、AED の使用方法と使用しながらの心肺蘇生の実技を行う。

※救護者の安全確認→意識確認→協力者に 119 番、AED を持ってくることを仰ぐ（必ず戻ってくることを伝える）→呼吸の確認→心肺蘇生①胸骨圧迫 30 回②人工呼吸 2 回（無理にする必要はない）①②を繰り返す

AED があれば、心肺蘇生をしながら AED を使用する（AED 装着の際も、心肺蘇生は止めない）

- ・その他の応急処置を習う。（窒息、出血の止血、骨折、やけど、熱中症等）
- ・会議室 C の使用時の避難経路を確認しながら帰ってもらう。

(3) 参加者の感想：

- ・心肺蘇生が命に係わる大切なことだとわかった。
- ・心肺蘇生はする人も大変なので、協力者が必要ということがわかった。
- ・今後も定期的に AED 講習を受けようと思った。

(4) 今後の対応：継続的に行い、登録団体を中心に呼びかけていきたい。



## ●男性向けボランティア交流会

1 実施日：平成 27 年 3 月 7 日（土）13 時 30 分～16 時

2 参加者：15 人

3 内容：

(1) 目的：団塊の世代の男性の居場所づくりと、その後のボランティア団体の立ち上げのきっかけづくりを目指す。

(2) 内容：周りの人に楽しく元気にボランティア活動を楽しんでいる姿を見せるのもボランティア活動のひとつであり、頭を柔らかくして物事に臨むことが大切だという、気構えないコツを講じた。

(3) 検証：講座半ばから参加者の顔が和らぎ、空気が和やかになってきた。この

まの気持ちを維持し、撮影ボランティア講座に突入したい。

- (4) 今後の対応：次回からビデオ撮影の実技の講座になり、実践的が多くなるので、楽しい気持ちの維持し、チームで行う活動につなげていきたい。



### 【指定管理における第7回あしや市民活動フェスタ】

- 1 実施日：平成26年5月31日（土）10時～16時
- 2 参加者：30団体、スタッフ18人 来場者677人
- 3 内容：
  - (1) 目的：市民活動センター登録団体の活動を登録団体及び市民に知ってもらうための活動発表と、交流を目的とする。
  - (2) 内容：登録団体の活動発表を行う。
    - ・ステージコーナーではエンターティナー系の団体が発表をする。
    - ・体験ブースでは、各団体の活動を実際に体験する。
    - ・セミナー室では、各団体主催のセミナーを行う。
  - (3) 検証：出演団体の人も他の団体の活動発表を観たり体験をしたりと、登録団体間の交流ができていた。また、通常の活動では会うことのない幅広い人々の前で、発表ができたということが、今後の活動へのさらなる意欲をかき立てており、団体の活性化につながった。今年度は体験コーナーを拡大したが、団体にとっては伝える難しさと知ってもらえる喜びを体感し、参加者にとっては身近に体験することで、それぞれの活動に興味を持つきっかけとなり、ステージ発表とは違った交流ができていた。リスクマネジメントが作られていなかった。開始または終了時、どちらかでもよいので、スタッフ全員での打ち合わせは必要である。



### 【指定管理における自主事業】

#### ● 芦屋さくらまつりの清掃等ボランティアコーディネート

- 1 実施日：平成26年4月5日（土）、6日（日）9時～20時
- 2 参加者：143人

- 3 内 容：来場者にクリーンな会場でさくらまつりを楽しんでもらえるよう、清掃活動のコーディネート及び清掃活動をボランティアと共に行った。その他、運営協力として出演バンドの楽器・弁当運搬、臨時駐車場の交通整理等のコーディネート及びボランティアを行った。

●テーマカフェ 1 回

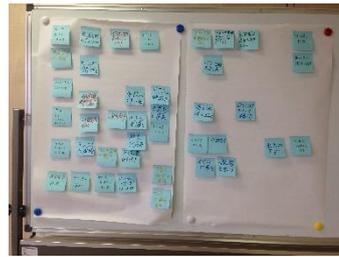
1 実施日：平成 26 年 6 月 2 日（月）10 時～12 時

2 参加者：6 人（5 団体）

神戸パイロットクラブ（郡司）・劇団あんだん手（田口）・公益財団法人日本宇宙少年団六甲分団（大塚）・岩園町自治会（南波・尾崎）、託児芦っ子（西）

3 内 容：

- (1) 目的：他団体とのざっくばらんな情報交換や意見交換を通じて相互交流を深め、将来的には協働関係に発展することを目指す。
- (2) 検証：参加者の顔ぶれの殆どが団体リーダー級だったため、団体としての課題を踏まえた情報交換、意見交換がスムーズに行われた。即興でのワークショップが行われ、団体イベントの集客方法における成功事例・失敗事例などがポストイットに書き出された。40 余りの豊富なアイデアが共有され、今後の団体活動の活性化に役立った。
- (3) 参加者感想：
  - ・今日場で交わされたアイデアをまとめたマニュアルを作成し、周りの人とも共有したい。
  - ・こうした他団体交流の場をきっかけにイベントなどの共同主催などを行い、お互いの活動の輪と可能性を広げていけたらよいと感じた。



●テーマカフェ 2 回

1 実施日：平成 26 年 7 月 9 日（水）10 時 00 分～11 時 30 分

2 参加者：6 人（6 団体）

劇団あんだん手（田口）・公益財団法人日本宇宙少年団六甲分団（大塚）・託児芦っ子（西）・BMC（吉沢）・あしや健康倶楽部（西川）・IMMC（三上雄太郎）

3 内容について

- (1) 目的：他団体との率直な情報交換や意見交換を通じて相互交流を深め、将来的には協働関係に発展することを目指す。
- (2) 検証：市内で同じように志をもって活動している団体の存在が確認できたこと、情報交換できたことが刺激になったようだ。一方、カフェの事業目的が不明瞭で、どういう姿勢で参加したらよいか戸惑ったという声も聞かれた。
- (3) 参加者感想：
  - ・テーマに精通した参加者が最初に15分間ほど基調講演を行い、その後意見交換に移行する形式にすると、話材が整理でき全体の流れがスムーズになると思う。
  - ・スタートが10時（開館時間）だと慌しい。時間を後にずらしてはどうか。
  - ・団体の相互交流と協働を推進するのがテーマカフェの事業目的ならば、案内チラシに名刺や団体のパンフレット持参を勧める旨を明記しておくとういのは。



### ●テーマカフェ第3回

1 実施日：平成26年8月4日（水）10時30分～12時00分

2 参加者：6人（5団体）

劇団あんだん手（田口）・公益財団法人日本宇宙少年団六甲分団（大塚）・託児芦っ子（西）岩園町自治会（南波）・芦屋観光協会（石本・小林）

3 内容について

- (1) 目的：他団体との率直な情報交換や意見交換を通じて相互交流を深め、将来的には協働関係に発展することを目指す。
- (2) 検証：冒頭に芦屋観光協会の副理事長より、法人の活動内容や市内観光の現況について話題提供いただいた。これがきっかけとなり観光資源や環境衛生など、閉会時間間際まで活発な情報・意見交換が交わされた。そのテーマについて活動している団体の参加があると、話が格段に深まり、カフェの参加者全員のモチベーションが上がった。
- (3) 参加者感想：
  - ・次回からテーマカフェのチラシに回数を付してほしい。
  - ・芦屋に観光資源が乏しいこと、それを開発するため様々な取り組み（芦屋川のPRや芦屋マダムのモダンイズムカレーの販売など）がされていることを知った。
  - ・景観というテーマとは話が逸れたが、高性能なごみ焼却炉や芦屋川へのポイ捨てなど、普段気になっている市内の環境衛生について意見交換ができてよかった。



## ●テーマカフェ第4回

1 実施日：平成26年9月10日（水）10時30分～11時35分

2 参加者：4人（3団体）

劇団あんだん手（田口）・公益財団法人日本宇宙少年団六甲分団（大塚）・  
託児芦っ子（西）

3 講師：堀内 氏

4 内容について

- (1) 目的：他団体との率直な情報交換や意見交換を通じて相互交流を深め、将来的には協働関係に発展することを目指す。
- (2) 検証：実践（今回は健康増進をテーマとした健康体操の実践）していただくことで、後半の意見交換では、今後の協働の可能性について活動の場を具体的に思い浮かべながら話し合いを行うことができた。

(3) 参加者感想：

- ・堀内講師の関節の硬直具合や転倒のリスクなどへの配慮、「身体が柔らかいですね」「そこまで伸ばせたら十分ですよ」という優しい声かけが印象的だった。

高齢者を対象とした講座を行うときは、その中身もさることながら、参加者一人ひとりに対するそういった配慮が必要であると感じた。

- ・実際にやってみると、こういうことができればもっと楽しいのではないか、というポイント（協働の足がかり）を見つけやすい。

(4) 今後の対応：

- ・しばらくインターバルを置き、漠然としている本事業のあり方について再考する。登録団体からテーマに相応しい講師を招き、その団体活動を基点にした協働関係の構築を支援する手法なども検討したい。



## ●NPO 法人設立講座

1 実施日：平成26年6月21日（土）

13時～15時

2 参加者：19人

3 講師：能島 裕介氏（NPO 法人 Brain Humanity 理事長）

4 内容について

(1) 目的：南阪神を中心とした市民活動団体の基盤強化

(2) 内容：

- |                     |                      |
|---------------------|----------------------|
| 1. NPO 法人になればどうなるの？ | 2. NPO 法人のメリットとデメリット |
| 3. NPO 法人の仕組み       | 4. 所轄庁               |
| 5. NPO 法人の機関        | 6. NPO 法人の設立手続き      |
| 7. 目的・理念を考える        | 8. 事業内容を決める          |
| 9. 会員               | 10. 役員               |



11. 必要書類

12. 登記

13. 法人化した方がよい団体、しない方がよい団体

(3) 参加者の感想：他法人との違いや法人化の要否など、基本知識の整理ができ大変有意義だった。例示が豊富で、わかりやすい説明だった。

(4) 今後の展望：法人化すべきかどうか判断できない、法人化のデメリットを知らずにNPO相談に来る来所者が少なくない。団体にとっての理想の組織形態について自己診断できる講座を開催するのも一案である。各法人制度の法改正講座など、フォローアップ講座の開催なども検討したい。

### ●市民活動・NPO支援講座助成金の獲得と活用

1 実施日：平成26年6月28日（土）13時～15時

2 参加者：19人

3 講師：能島 裕介氏（NPO法人Brain Humanity理事長）

4 内容について



(1) 目的：南阪神を中心とした市民活動団体の基盤強化  
次の講師育成のためのスタッフ研修も兼ねる。

(2) 内容：

- ・助成金の基本：助成金の健全な活用法や助成金の意義について学ぶ。
- ・助成金獲得7つのステップ：採択されるために必要な7つのステップについて学ぶ。
- ・ワーク「申請書を書いてみよう！」模擬の助成金申請書を使って申請書の書き方について実践形式で学ぶ。お互いの申請書を比べながら審査員の視点を体験する。

(3) 参加者の感想：他の資金源との違いをはじめ、助成金獲得のメリットとデメリットから採択される助成金申請のノウハウまで、幅広く学ぶことができた。例示が豊富でわかりやすい説明だった。講師が行政の助成金の審査員をされており、助成する側の視点がわかり大変有意義だった。

(4) 今後の展望：近年、NPO相談窓口における助成金申請相談が増え始めている。NPO相談窓口の充実を図るとともに、初級・中級・上級と徐々にステップアップを踏み（中級・上級については専門職とも連携し）ながら、開催についても検討したい。集客も、大きな課題の一つであり、現状は3センター（芦屋・西宮・尼崎）協働で講座の広報をしているが、MLの活用やチラシの設置先を増やすなど協力先を新規開拓していく。

## 【芦屋市からの事業受託】

### ●地域の課題解決の仕組みづくり支援業務報告書

1 実施日：以下の通り

2 参加者：延べ300人

5/22・第8ブロック (23人)	6/2・第7ブロック (25人)
6/6・9Aブロック (31人)	7/7・9Bブロック (22人)
7/16・第10ブロック (21人)	7/18・2ACブロック (19人)
7/25・6Bブロック (24人)	8/1・6Aブロック (30人)
8/7・第1ブロック (30人)	8/29・市民ひろば (75人)

3 内容について

(1) 目的：芦屋の地域力を高めるため、市民が地域にある様々な課題について話し合いながら解決に向けて取り組む仕組みをつくる。

(2) 検証：平成26年度の地域ひろばは、市側の地域課題「災害時要援護者支援」について10ブロックで9回話し合われた。

ブロック内の自治会が顔を合わせ、情報交換できたことは有益であったという意見が複数見られた。市からの課題である「災害時要援護者支援」はどの自治会も抱えている課題であり、具体的に当事者として意識が共有できたことは、多くの自治会が良かったと評価していた。

行政の動きのもどかしさを述べる一方、地域課題はやはり自分たちで解決すべきということ認識できたという意見も聞かれた。分野別で活動しているNPO法人としては、地域団体との協働にかなり期待しているようだ。各団体の専門性を地域課題の解決に還元していくためには地域ひろばのような顔を合わせて協議する場が必要と思われる。

市民ひろばの前半では、要援護者支援台帳の開示に係る条例化の是非をまちづくり懇談会の議題として提出するか等について、積極的な議論が交わされた。後半では今後の地域ひろばの開催について、議論の時間こそ十分に確保できなかったものの、地域会議のあり方などについて、日頃の市民の率直な声が聞かれた。

(3) 今後の対応：

地域としての代表性をもつ地域ひろば・市民ひろばをどう形成していくか主役である市民の理解を得ながら、一つひとつ確実にステップを踏みながら模索していきたい。

### ●NPO等の地域課題に関する調査分析業務報告書

「地域ひろば」の議事趣旨及び団体の振り返りシート及び、「市民ひろば」の議事趣旨を取りまとめることと、今年度の取り組みを調査分析し報告書を作成することを目的とし、別紙報告書と電子データを2部提出した。

## ●人事課特別研修

- 1 実施日：平成26年10月14日(火) 13時30分～15時30分
- 2 会場：市役所南館4階 大会議室
- 3 講師：能島 裕介氏 (NPO法人Brain Humanity理事長)
- 4 参加者：課長級以上の職員
- 5 テーマ：「芦屋市における市民参画協働」
- 6 内容：芦屋市及び他市における現在の市民参画協働と、今後期待される市民参画協働の在り方

### 【その他の事業受託】

## ●芦屋市自治会連合会

ホームページの維持管理、まちづくり懇談会の議事録作成を行った。

## ●芦屋市地区集会所

- 1 実施日：平成27年2月19日 13時～17時 2講座
- 2 参加者：24人
- 3 講師：福田 素子氏
- 4 内容：芦屋市集会所管理人向けの接遇講座。来館者への対応と傾聴の仕方を学ぶ。

### 【法人の事業】

## ●市民活動・パワーアップ講座「実践！PDCA サイクル」

- 1 実施日：平成26年7月5日(土) 13時～15時
- 2 参加者：11人
- 3 講師：能島 裕介氏 (NPO法人Brain Humanity理事長)
- 4 内容：



- (1) 講義：PDCAサイクルの考え方と事業改善習慣化の意義と効果について学ぶ
- (2) ワーク：スクオーキングという手法、課題の原因分析をロジックツリー法から課題の原因分析に基づいた的確で効果的な改善策を検討する。
- (3) 参加者の感想：PDCAサイクルの必要性は十分わかっているのだが、職場環境に馴染まないなどの理由から、現場で実践することは難しい。実際に手を動かして図示するだけで、ずっと問題整理がはかどると思った。
- (4) 今後の展望：一見とっつきにくさを感じるPDCAサイクルだが、事業計画のみならず、地域行事や日々の業務、ひいては日常生活での作業の効率性を見直すツールにするなど、その活用範囲は幅広い。小地域でのふれあいイベントを成功させるための段取り講座、多忙な母親の一日の段取り術など、敷居の低いところからPDCAサイクルを広めていくことも検討したい。

## ●市民活動・パワーアップ講座「挑戦！新規事業開発」

- 1 実施日：平成26年9月20日(土) 13時～15時
- 2 参加者：10人

3 講師：能島 裕介氏（NPO 法人 Brain Humanity 理事長）

4 内容：

(1) 講義：社会変革を目指した顧客志向のマーケティングについて学ぶ。

(2) ワーク：既存事業を「成長性」「市場シェア」などから分析する PPM の手法を応用し、既存事業の分析を行う。

顧客の絞り込み（セグメンテーション）や顧客像のイメージ化などを通して、本当に顧客のニーズにマッチした新規事業を検討する。あわせて、来年度事業の再検討も行う。

(3) 参加者の感想：本来やりたい事業を続けるために、収益性の高い他の事業を手がけるという発想はなかった。PPM の考え方は、新規事業の開発だけでなく、既存の事業構成を再検討する上でも有用だと感じた。

(4) 今後の展望：戦略的な視点をもって市民活動を行っている団体にとって新規事業開発は関心のあるトピックである。新規事業に使える助成金情報と絡めて、関心のある団体には NPO 相談窓口などで個別に紹介していく。



●市民活動・NPO 支援講座 簿記初心者のための決算業務のすすめ方

1 実施日：平成 26 年 12 月 6 日（土）13 時～15 時

2 参加者：約 20 人

3 講師：板谷 哲男氏（西宮市市民交流センター 事務局長）

5 内容：

(1) 講義：決算業務全般（試算表の作成、棚卸、仮勘定整理、経過計算実施、債権債務整理、共通費配賦、引当計上、決算数値確定、注記記載）

(2) 参加者の感想：初めて会計講座に参加する方もおり、専門用語の意味が分からない事から、理解が難しかったとの意見があった。

(3) 今後の展望：初心者向けや会計ソフトの導入の有無等を含め、具体例をあげた個々のセミナースタイルを今後は考えていく。



●講師派遣事業

・西宮市市民交流センター ボランティア入門講座（5 月 31 日）

・柏原市民生児童委員会協議会 精神保健ボランティア入門（8 月 28 日）

・神戸市須磨区保健福祉部こども家庭支援課 ボランティア活動って何？（8 月 28 日）地域のできる取り組みについて（10 月 17 日）

・神戸市社会福祉協議会 ボランティア活動とは（9 月 5 日）

・柏原市社会福祉協議会 傾聴ボランティア講座（10 月 21 日 10 月 28 日）

●他団体への後援・協力について

・芦屋音楽祭、社会を明るくする運動、芦屋市障がい児者作品展、芦屋観光協会、

しみん基金 KOBE、I Love Ashiya への広報、ボランティア等協力

- ・リレー・フォー・ライフへの後援
- ・芦屋市教育委員会社会教育委員、芦屋市福祉部地域福祉計画推進評価委員、関西電力市民委員、西宮市市民交流センター運営委員を担った。

●広報紙「あしやNPO通信」の発行

- ・26年7月と27年1月に2回発行し、芦屋市内のNPO団体、自治会と、近隣のNPOセンターに発信した。

●ホームページからの情報発信

- ・ヤフー株式会社から「Links for Good」助成を受け、セミナー等の広報を行った。
- ・助成金情報の発信を行った。

●阪神南中間支援センター連携交流会

- 1 実施日：平成26年9月13日（土）14時～16時
- 2 参加者：74人
- 3 講師：早瀬昇氏（社会福祉法人大阪ボランティア協会 常務理事  
認定特定非営利活動法人日本NPOセンター 代表理事）
- 4 内容：

- (1) 目的：①市民活動の情報発信、ネットワークづくりなど、他の公共施設とは異なった中間支援センター独自の機能と役割を発信する。  
②市民活動の重要な資金源となる助成金に関する情報を提供する。



- (2) 検証：目標の集客数（110人）には至らなかったが、地域的な偏りなく、幅広い阪神間の市民活動団体に参加いただいた。アンケート結果によると、参加者には「市民活動」という抽象的な概念を早瀬氏が親しみやすく体系化し、具体例を交えて話されたことがわかりやすかったようだ。今後の市民活動の進め方について、何らかの手がかりを持って帰られた方が多かったと思われる。

●団体間の交流

- ・関西NPO支援センターネットワークに参加し、情報交換を行った。
- ・ひょうご中間支援団体ネットワークに参加し、情報交換を行った。
- ・西宮市市民交流センター、NPO法人シンフォニーと情報の共有と、講座の協働を中心に協議を4回開催した。

## 第8期(平成26年度)活動計算書

(特活)あしやNPOセンター 平成26年4月1日～平成27年3月31日

(単位:円)

科 目	金 額		
<b>I 経常収益</b>			
1. 受取会費			
正会員受取会費	210,000		
賛助会員受取会費	11,000	221,000	
2. 受取寄付金			
受取寄付金	20,000	20,000	
3. 事業収益			
あしや市民活動センター指定管理料	18,916,000		
会議室利用料	968,500		
印刷機等利用料	2,098,802		
地域自治の仕組みづくり	985,673		
芦屋市自治会連合会HP維持管理	120,000		
芦屋市自治会連合会まちづくり懇談会	35,000		
地区集会所研修	67,470		
人事課特別研修	76,000		
講師派遣	131,329		
自主セミナー	53,000	23,451,774	
4. その他収益			
受取利息	1,078		
事業収益	393,072		
その他収入	524,321		
雑収益	51,102	969,573	
<b>経常収益計</b>			24,662,347
<b>II 経常費用</b>			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	12,394,972		
法定福利費	1,384,115		
福利厚生費	112,267		
ボランティア謝金	28,000		
通勤交通費	625,495		
<b>人件費計</b>		14,544,849	
(2) その他経費			
業務委託費	735,636		
講師謝金	348,480		
広告宣伝費	365,385		
会議費	153,900		
通信運搬費	568,207		
活動交通費	60,420		
相談員謝金	19,000		
消耗什器備品費	654,428		
消耗品費	759,287		
水道光熱費	1,931,082		
新聞図書費	19,486		
支払手数料	36,916		
印刷製本費	1,511,025		
会場費	28,225		
リース料	479,313		
保険料	9,000		
租税公課	640,113		
支払報酬費	446,800		
研修費	26,000		
諸会費	0		
<b>その他経費計</b>		8,792,703	
<b>事業費計</b>			23,337,552

2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	424,917		
福利厚生	6,216		
人件費計		431,133	
(2) その他経費			
広告宣伝費	0		
渉外費	8,300		
会議費	192,261		
通信運搬費	20,844		
活動交通費	2,280		
消耗品費	378		
新聞図書費	2,890		
支払手数料	1,404		
印刷製本費	8,558		
支払報酬費	25,000		
会場費	17,185		
租税公課	0		
諸会費	0		
その他経費計		279,100	
管理費計			710,233
経常費用計			24,047,785
III 経常外費用			
1. 過年度損益修正損			
固定資産除去		0	
経常外費用計			
当期正味財産増減額			614,562
前期繰越正味財産額			4,189,306
次期繰越正味財産額			4,803,868

計算書類の注記

事業所名:特定非営利活動法人あしやNPOセンター 集計期間:平成26年4月1日,平成27年3月31日

※計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正NPO法人会計基準協議会)によります。また、消費税等の会計処理は、税込経理方式によります。

勘定科目	<指定管理>	<受託事業>	<自主事業>	<共通>	<合計>
<b>I 経常収益</b>					
正会員受取会費	0	0	0	210,000	210,000
賛助会員受取会費	0	0	0	11,000	11,000
受取寄附金	0	0	0	20,000	20,000
会費・寄付金計	0	0	0	241,000	241,000
指定管理料	18,916,000	0	0	0	18,916,000
会議室利用料	968,500	0	0	0	968,500
指定管理計	19,884,500	0	0	0	19,884,500
地域自治の仕組みづくり	0	985,673	0	0	985,673
自治連HP維持管理	0	120,000	0	0	120,000
自治連まち懇	0	35,000	0	0	35,000
人事課特別研修	0	76,000	0	0	76,000
集会所研修	0	67,470	0	0	67,470
受託事業計	0	1,284,143	0	0	1,284,143
印刷機等利用料	0	0	2,098,802	0	2,098,802
講師派遣	0	0	131,329	0	131,329
自主セミナー	0	0	53,000	0	53,000
自主事業計	0	0	2,283,131	0	2,283,131
受取利息	0	0	0	1,078	1,078
事業収入	0	0	393,072	0	393,072
その他収入	0	0	0	524,321	524,321
雑収入	0	0	0	51,102	51,102
その他計	0	0	393,072	576,501	969,573
売上高合計	19,884,500	1,284,143	2,676,203	817,501	24,662,347
<b>II 経常費用</b>					
給料手当	11,396,187	542,248	456,537	424,917	12,819,889
法定福利費	1,384,115	0	0	0	1,384,115
福利厚生費	112,267	0	0	6,216	118,483
通勤交通費	622,875	0	2,620	0	625,495
人件費計	13,515,444	542,248	459,157	431,133	14,947,982
業務委託費	515,756	100,000	119,880	0	735,636
講師謝金	48,400	120,000	180,080	0	348,480
ボランティア謝金	28,000	0	0	0	28,000
広告宣伝費	346,283	9,551	9,551	0	365,385
渉外費	0	0	0	8,300	8,300
会議費	0	153,900	0	192,261	346,161
通信運搬費	505,661	6,923	55,623	20,844	589,051
活動交通費	35,120	17,620	7,680	2,280	62,700
相談員謝金	19,000	0	0	0	19,000
消耗什器備品費	654,428	0	0	0	654,428
消耗品費	691,373	14,043	53,871	378	759,665
水道光熱費	1,931,082	0	0	0	1,931,082
新聞図書費	19,486	0	0	2,890	22,376
支払手数料	34,324	540	2,052	1,404	38,320
印刷製本費	404,318	218,480	888,227	8,558	1,519,583
会場費	0	27,825	400	17,185	45,410
リース料	301,197	0	178,116	0	479,313
保険料	9,000	0	0	0	9,000
租税公課	567,100	73,013	0	0	640,113
支払報酬費	446,800	0	0	25,000	471,800
研修費	26,000	0	0	0	26,000
事業費計	6,583,328	741,895	1,495,480	279,100	9,099,803
支出計	20,098,772	1,284,143	1,954,637	710,233	24,047,785
当期経費増減額	-214,272	0	721,566	107,268	614,562

貸借対照表  
平成27年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	123,252		
預金	4,808,399		
流動資産合計		4,931,651	
資産合計			4,931,651
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	22,145		
預り金	105,638		
流動負債合計		127,783	
負債合計			127,783
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		4,189,306	
当期正味財産増減額		614,562	
正味財産合計			4,803,868
負債及び正味財産合計			4,931,651

## 財産目録

平成27年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額			
<b>I 資産の部</b>				
<b>1. 流動資産</b>				
<b>現金預金</b>				
現金	現金手許有高	123,252		
預金	三井住友銀行芦屋支店	4,808,399		
<b>流動資産合計</b>			4,931,651	
<b>資産合計</b>				4,931,651
<b>II 負債の部</b>				
<b>1. 流動負債</b>				
未払金	水道光熱費	22,145		
預り金	源泉所得税・社会保険料 雇用保険料	105,638		
<b>流動負債合計</b>			127,783	
<b>負債合計</b>			-	127,783
<b>III 正味財産の部</b>				
前期繰越正味財産			4,189,306	
当期正味財産増減額			614,562	
<b>正味財産合計</b>				4,803,868